No. 570 SEMANARIO DE S. PAULO 3-ABRIL-1931

聖州新報
Semanario de S,Paulo
Rua Piratininga, 4-35, 4-72
Caixa Postal, 58 BAURU
Director e Redactor
ROGERO KOWYAMA
ASSIGNATURA
Anno 25$000
Semestre 16$000
Trimestre 8$500
Mez 3$000
Semana $500
購讀料 一年前金六、〇〇〇 全後金七、〇〇〇
廣告料 一段一回壹、〇〇〇 二段 全三、〇〇〇 中段 全五、〇〇〇 四分一段 全八、〇〇〇
社主兼編輯人 雲山 六郎

日伯新聞社長三浦氏國外追放に關し中島總領事の聲明を促す

社說

多年極道ついた日伯新聞社長三浦鑿氏は、伯國司法の忌諱にふれ、國外追放の命をうけ、止むなく、去る二十六日、サントス港發獨乙船、モンテ・オリビア號に乘り、歐洲向け此國を漂然と去つてしまつたと、伯字新聞は報じて居る。

吾人は同業操觚者の一人が、斯かる境遇に沈淪した事を、世間に對し恥かしく感ずる。

三浦日伯社長の國外放逐問題は、昨今始まつた先端的問題ではなく、實は多年の積惡から時の懸案とされて居た。

吾人は同業の道誼上、事今日に到らぬ前に、幾度か彼に社長引退を迫つたが、容れられず。事遂に今日に到つてしまつた。

彼が斯くなる運命は、彼の先天的旋毛曲りの俳根性が、彼の悪人を誹謗する常習犯となつた祟りであり、彼が慢性の自惚から招ねいた自業自得である。

さはあれ、彼も亦、陛下の一赤子であるに。

在伯邦人の保護職責ある總領事中島氏の忌諱にもふれ、不幸にして、事今日に到つた事は、在伯操觚界の不祥事であり、在伯日本帝國總領事館の不幾事である。

三浦追放問題に關して、中島總領事は、其官職を拋つても遂行の悲壯なる意氣が旺んであつたと、世間では噂し合つて居る衆もある。

或は本省に申請し、本省より暗默の御許可により、總領事の肚もきまり、斷行したとの噂もある。

巷間には、伯國司法權を、總領事たる官職權濫用により、該問題を政治化したとも噂されて居る。

斯くては追放されたものが、吾等在伯新聞人の一人である丈け、吾等在伯操觚者の前途に一抹の不安を遺すものである。又一面在伯帝國總領事の職責に汚點を印するものである。

在伯拾万邦人が、該事件に抱く疑心暗鬼を一掃する上からも實明なる中島總領事の威信面目上からも、吾人は日伯三浦社長國外追放事件に就て當該總領事の眞相聲明書發表を促す。

それは吾が在伯邦人移殖民社會の「吾等の總領事館」として明

都だより

丘の人

北方將軍歸る

（前号のつゞき）

△バイア事件が天下の輿論を招いたのには色々の原因があるのであるが、その隱れたる一因はタボラ將軍の政治的手腕が疑はれて居たためであつたと思ふ

△將軍と云ふには實際氣の毒な程タボラ將軍は若い、書生とつて。まさに三十一才の青年士官陸軍大尉）で將軍とは革命將軍の意なのである

△國事の他何事も考へない至誠の士タボラ將軍は、將軍と言はれる事を頗る好まない。バライバのポーポが將軍に「大將」と言ふ稱号を贈らうとした時にも、將軍は電報を以つて之を拒つた

△三十一才の青年士官、しかも征戰の他何の政治的經驗のないタボラ將軍の政治的手腕が疑はれるのにも無理がなかつた

△將軍はサンパウロ革命の落武者として亞國ブエノス市にあつた時、一、二の著書をして居ると言ふ無論それ等に氏の政見らしいものがあるのだらうと思はれるが、十月革命成就後前後二回に亘る「エントレ・ヴイスタ」がそれ以外に著く國内に知られた政見であらう

△第一回の「エントレ・ヴイスタ」は革命直後氏が叔父の宅（公爵人で現在勝買局高官）で行はれたが、それには市内の各新聞記者や通信社の代表者等も集つて革命將軍の政見を聽いた

△其の時の氏の政見は、可成も多方面にわたつて居るが、要するに實際論よりも理想論が多く特に卓越した前人未想的のものは無かつた。一個の理想家の理想論としてただその純眞さだけは認められた。また氏が倒底一個の武將でない事も確實に證明せられた。特に折が折であつたからその反響は可成り大なるものであつた

△第二回目の政見發表は一月十日頃であつたと思ふが、その時の氏の政見は第一回のものよりもズツト廣汎で、意見ももつと實際的であつた、尤も第一回のものは列席者の質問に應じて答へたものであるが、第二回目のものは將軍が想をねつた原稿によるものであつた

△第二回目の將軍の政見が端なくもサンパウロ方面の非難を招いたと言ふ理由は、サンパウロ出身の舊政治家連を難じ、サンパウロの政治家は地方政治にのみ沒頭して一切國事を考へないと言つた事、ブラジル銀行が殆どサンパウロの珈琲政策にのみその金力を傾けて居る點等を難じて非難したためであつたが、それは誠實の士である理想家である將軍の卒直論であつて、將軍にサンパウロ舊政治家を非難したものであつて斷じてサンパウロ州民を侮辱したのでも何でもなかつたのであらう

△將軍がサンパウロ方面のみならずミナス方面の評判もよくなかつたのは、アルツール、ベルナルデス氏との會見後であつたのだから、世論が沸騰する樂將軍（オスワルド、アラーニヤ法相及ゴエス、モンテイロ大佐）のベルナルデス氏との會見を極度に非難した新聞もあつたが、しかしそれは今度の革命の一方の主將が他の一方の首領に對する禮儀でもあり、新政府に對する舊敵の新しい意見を質す必要があつたのを無視した議論であつた、蓋し政界大改造の理想實現のためには一と先づ舊敵とでも力を合せねばならなかつたのが理想革命家の苦るし立場であつたのだ

△しかしミナス方面のタボラ將軍非難論は、その後猛烈に火の手を揚げた。ヴイソーサの郷里最後の候補者がバイア大學長のベルナルデイノ・デ・ソーザ氏であつたが、聯邦政府と相談の結果全國的大喝采裡にネイバ氏がバイア州の新目付役の重任に命ぜられたのであつた

△ネイバ氏が全國的評判のあつたのは、氏が國際的な大學者であり有數の人格者であつたがためであらうが、ネイバ氏が「バイアに臍の緒を切れる」事と「バイア州に在らずしてバイア州を忘れざるもの」とが著しくバイア人を感激せしめたからである

△バイア事件に於て、自說を枉げて州民の意に適つた目付役を撰んだタボラ氏の公明なる態度は、將軍の聲望の比較的薄かつたサンパウロやミナス方面の民心を動かしたらしく、現にアルツール、ベルナルデス氏までネイバ氏を適任に適當の稱賛の辞を呈した

△かくして十月革命が生んだ一の若き英雄の政治的生涯は、バイア事件を第一歩として可成り末來のあるスタートを切つたのであつた

（三月二十四日）

南の旅

淺見哲之助（十三）

(18) 接待

或る日、所長さん（伊太利人）からお茶に招待された。勞働者が所長さんの私宅の數居を股いだといふ前例がないので、他の連中が羨ひのも無理もない。

「何かかけませうか？」

余りボルトゲースの上手でない奥さんが、蓄音機のねじをかけながら、愛嬌を百パーセントふりまいて尋ねた。他人を見たら顏赤らめて爪の先をかじる日本人とは異つて、實に外交がうまい。

「はい。お國氣分の濃厚な処を一つ聽かしてゐただきたいですね。……」

「ファシス黨歌！」

所長さんの提案だ。

「いゝですな、是非！」

私も合づちを入れた。

レコードは廻りだした。力强いバスが室中に滿ち切つた。

「おいA、明日は太陽が西から登るよ！」

所長の前に出たら亀の子のやうに頭をちぢめて了ふ支配人が、所長宅から飯る私を呼びとめて云ふた。

「どうして？」

「家の親爺が、勞働者を接待したからさ……」

×××××××

カシアスの農事試驗所は聯邦政府直營のものだが、實際は州政府の支配下に置かれてある。

人員に 58:200$000 reis
material permanente 37:000$000 reis
material consumo 40:000$000 reis
Toital 135:200$000 reis

(19) シユマロン

噂丈は聖市にゐる時から聞いてゐたシユマロンを、一度は吸ふて見たいと思ふてゐたが、余も惠まれた機會がなかつた。人の好いい支配人を散々煽てゝ置いてその機會を掴んだ。

土曜の夜、夕食后近処の選びぬきの美しい娘さん達を招待してシユマロンを吸ふた。奇らしい客のとか大切な客のある場合、娘さんはその客の隣りに坐を占めてそれを吸ふ事が客を遇する一つの禮となつてゐる。

瓢丹の頭をはねた中に、マラ茶を一杯つめ込み、特別な仕組の金や銀で彫刻の入つた管をその中に突込んで、熱湯をそゝぎ込んでは次から次にと順送りして吸ふのだ。

始めの内は不潔なその管を唇に持つて行く氣にもれなかつたが、此の漠大な金頭を年々當地方葡萄樹改良に政府は注ぎ込んでゐる。その恩惠に生き、組合の運用宜しきを得てゐるから、一リットル三〇〇レースで葡萄酒を賣つても收支が償ひ惠まれた生活が當地方民は營めるわけだ。

（當地方農民生活模樣は、サンタカタリナ獨乙模範殖民地よりいゝ稿でかゝしてもらう、類似してゐるから重複をさけて

(20) 接待

吉さんは、如何にもブル式に、脂勝ぎつて居る男だ。記者は源川さんの宅で一夜お茶に呼ばれつゝ、夫人のまはさるゝ東京行進曲のレコードをきいた。お茶にふさはしき靜かな夜であつた。片山日吉さん宅でもお茶の一夜を過した。

讀書の人々

同市で、所謂知識階級に属する人々を擧げると、宮城重吉郎氏が居る。宮城三郎さん、大城武盛さん新垣松雄さんが居る宜保さんと大城さんの事は已に書いた。

宮城さんは、源川幸吉さんと共同で藥劑店をやつて居る。

宮城さんは、日本で鍛つた免許ある藥劑師である。

私は「みやぐすく」と申します……と謙遜な軟らかい言葉つきの裡に、反抗なき强味がある白皙痩躯だが眼も口も大きい丈夫だ。話の時に頭腦の明晳さを想はせられる。讀者の人だ

新垣松雄さんも白皙痩短躯の人だ。話の中に新思想を嚙み分けて居り、それが鉗金として光つて居る。在カンポグランデの日本人中恐らく新垣松雄さんは第一の讀書家であろふと想つた

職業としては家具製造業である。斯うした讀書家にふさはしく、源川幸吉さん等程金儲けは上手でないらしい。

麻州への一路 (5)

公孫樹

金ためた人々

カンポ・グランデ市で金ためた人々の、雄なるものを上げれば、ビンガ製造で名高い中尾權四郎さんが居る。安谷屋亀さんが居る。源川甚四郎さんが居る藥劑店で儲けつゝある源川幸吉さんが居る。寫眞屋でシコタマためた片山日吉さんが居る。片山さんは同市唯一の内地人である、熊本縣人である。先年夫婦お揃ひで一時歸國し、郷里の父母の爲めに二万圓を投じ、文化住宅を新築して歸つて來た片山さんは、今度亦、カンポ、グランデ市の目拔きの通りに數十コレトスを投じ、二階建ての煉瓦家屋新築中である。

また中尾權四郎さん射的バンタアンナ（水草沼澤平野地帶）地帶たるサロブラ驛附近迄の癘疫雨の地に鐵道敷設工事に從事し、今日か明日かと生死の境で四年の歳月を暦みしたが、カンポグランデの歸康地帶に脱兎の如く走り込んで今日迄孜々營々拾五夕陽にそよぐブリヂゼイロの年、今では六百コントスの財産だろうと唄はれて居る。

權四郎さんは、繪にかいた達磨の樣な眼をして居り、源川幸吉さんは、如何にもブル式に、脂勝ぎつて居る男だ。記者は源川さんの宅で一夜お茶に呼ばれつゝ、夫人のまはさるゝ東京行進曲のレコードをきいた。お茶にふさはしき靜かな夜であつた。片山日吉さん宅でもお茶の一夜を過した。

讀書の人々

同市で、所謂知識階級に属する人々を擧げると、宮城重吉郎氏が居る。宜保三郎さん、大城武盛さん新垣松雄さんが居る宜保さんと大城さんの事は已に書いた。

宮城さんは、源川幸吉さんと共同で藥劑店をやつて居る。

宮城さんは、日本で鍛つた免許ある藥劑師である。

私は「みやぐすく」と申します……と謙遜な軟らかい言葉つきの裡に、反抗なき强味がある白皙痩躯だが眼も口も大きい丈夫だ。話の時に頭腦の明晳さを想はせられる。讀者の人だ

新垣松雄さんも白皙痩短躯の人だ。話の中に新思想を嚙み分けて居り、それが鉗金として光つて居る。在カンポグランデの日本人中恐らく新垣松雄さんは第一の讀書家であろふと想つた

職業としては家具製造業である。斯うした讀書家にふさはしく、源川幸吉さん等程金儲けは上手でないらしい。

菜園經營者の群

同市の南東隅に小川に浴ふた黑土の肥沃の平野がある。バンデランテの野菜園である。

主に島尻郡出身の人々が寄り集つて各二三アルケースづつ借地で、菜園經營をやつて居る

是等の人々は、養豚を副業としてゐる。

豚の飼料には琉球芋を培ゐて居る、芋と旺盛に繁る芋の葉とそれからカンポグランデの大産物たる屠牛の内臓を買つて來て雜煮してやつて居る。

此家族數四十六家族と計上された。

記者は日本人會書記多和田君の案内にて、此バンデランテ菜園を廻つた。

サンパウロ州には生ひ繁らぬバルメーラの一種、ブリヂゼイロが、平野の女王然と処々に立つて居た。

CASA TOZAN
MIZUCAMI & CIA,
COMMISSARIOS
Rua Cidade de Toledo, 25 — Caixa Postal, 911
Endereço Telegraphico "TOZAN" — Telephone, 2837
— SANTOS —
サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミツカミ・イ・コムパニア
郵函 九一一号
電話 セントラル二八三七号
電信略号 「TOZAN」
弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
横濱正金銀行
リオ、デ、ジヤネイロ支店

郷里送金
この樣文字を手紙の表には られたし
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし卽ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ御送り申上候。
三、金子はコンバロル郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として Banco Commercialdo Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下ても差支無之候。
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候。
預金
郵貨定期預金利息六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金（六ケ月以上年四分五厘
（壹ケ年以上年五分
伯貨當座預金（小口）年四分
▲預送金用紙は御請求次第直ちに御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候。
御申込の際は最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に御座候

奥ノロエステ線 大洪水にて 汽車はミランダ驛止り

最近南米中原に降り續く豪雨の爲め、例年になくパラグワキ河大洪水が早く來たポルト、エスペランサ驛よりサロブラ驛一帶のパンタンナ(水平原地帶)は洪水大氾濫の爲め鐵道軌道破損ケ所多く、因つてノエステ鐵道局は一際の貨物も乘客も當分ミランダ驛止りとして、それよりポルト、エスペランサ驛迄は當分減水迄運輸を中止した

佛國資本團が 麥。石炭。セメントと 伯國珈琲を交換希望

伯國外務大臣は駐佛伯國大使よりの電報により、佛國資本團ムデルモントが代表して伯國珈琲を麥、石炭、セメントと交換したき由申請し來たと、コーヒ調節局長及大藏大臣宛通達した契約は三年又はそれ以上で半年毎に延長し得る樣したい希望で提案者が近々渡伯し來る由

英皇太子の來聖

英國皇太子殿下には皇子弟ジョルヂ殿下及從者一同と二十八日午前十時四十分特別列車にてリオ首府よりサンパウロ市ルース驛に御着

二拾一發の皇禮砲はチラデンテ街の陸軍衛庭に發せられ、驛頭には「ゴオド、セーブ、ザ、キング」の英國歌を樂隊吹奏裡に皇太子殿下及皇子弟には帽子から靴まで純白の御制服にて御降車、伯國政府側扈從者は參謀總長タソフラゴーゾ將軍であつた、プラタフオルマには聯邦の聖州目附役ジョン、アルベルト大佐がウニフオルメ大禮服にて御迎ゐ申上げ州差廻しの馬車にて十一時過ぎカンポス、エリセオス州宮に成らせられた、路傍の觀衆は同宮前へと押寄せたが州騎兵隊の警戒嚴重をきはめた

午後三時皇太子殿下には聖州英國人の「カンツリ倶樂部」に自動車からならせられた、聖州商業倶樂部貴賓室にて同夜九時より伯人商業家が晩餐にお招きしたパウリスタノ倶樂部にてレセプソンを催した

日曜日はサンタ、アマロのレシント倶樂部のゴルフ場に成らせられた

歐州には各國禁止の西部戰線異狀なしのシネマを聖市ロザリオ座にて御覽あつた

カーザ、マビンに成らせられた三拾日午后六時發にて殿下御一行はソロカバナ驛よりパラナ英國植民會社開拓地へ御出發あつた、三日午后八時ルス驛發ミナス州首府へ御出發になる筈

陸軍參謀總長新任式

マラン將軍病癒辭退につき陸軍參謀總長の後任にはタソ、フラゴーゾ將軍が新任され三十一日陸軍省にて新任式を擧げた

伯國聯邦大審院 正副長決定

曩にレオニ、ラモス氏が伯國聯邦大審院長に新任さるゝ事になつて居たが法界の都合上副院長のドットル、エドムンド、リンス氏が院長に新任され副院長にはドットル、エルメネ、ゲルド、デバーロス氏が選らまれた

セントラル鐵道の電化

逸信大臣ジュゼ、アメリコ氏はセントラル鐵道を電力運轉する事に決定した、伯國電化會社シーメンス、シチュケルト、エス、アヲ社の請申計畫で監査は伯國にあるシーメンス、スチュケルト、ウエルケ、アヲ、デ社に命じる

電滴

▲英國皇太子殿下の御來聖で、聖市街がドノ位明るくなつたか

▲パラナ州英人經營の開拓地へ御出遊、殖民地帝國の英國皇太子だと、他國人事ながらさすが嬉し

▲駐伯三年、管轄邦人殖民地を未だに一巡せぬ領事連は赧顏の至りでないか

▲マテ茶の輸出難はマテ〳〵も云つて居れぬ

▲カフエーの輸出難は買ゐ〳〵と云つて居れば多少効能があるに

▲伊太利の黑襯衣黨に對して、印度に赤襯衣黨が現はれて居る支那には黃ヤ襯衣黨が流行なら日本には獄衣黨……否桃色黨かな

▲三浦前日伯社長がブラジルをおさらばさせられたと、此次は誰の番だい、まさか黑石時報社長じやあるまい

▲熊本縣人の新村が赤化し出して居る、良村を造り上げる前の赤化だから危險はござりませんばい……げな

▲黑石時報社長對同仁會醫高岡ドットルの泥仕合もソロ〳〵お疲勞氣味である、犬の喧嘩ならドチラも尻尾を股中に卷込んでる氣合だ今一息氣でおしまい

▲同仁會對高岡ドットルの收入關係は略ぼ發表判明した、同仁會對黑石時報社の印刷收支表が見たいものだ、發表々々

▲四月に入つた、芭市は菊の蕾が綻びかけた。田舍は棉摘みが始まつた、秋の空白雲がまだ多少低迷して居る

ニカラグワの大地震

ニカラグワのマナグワ市に去る三十一日大地震あり中央市場の建物英米兩國の公使館其他の建物全潰し損害甚しく、且つニカラグワ運河の設計中百哩は地震地帶に入り見込みなしと議論沸騰して居る由

社員告

伊丹金藏

右者今回コチヤ、サントス、ヂユキヤ線方面を巡回致させます愛讀者各位の御配慮を御願ひ申上ます

四月三日　聖州新報社

ジユキヤ線諸讀者各位

CASA TOKIO
木材家具商
京東ザ一カ
聖市サンタ、マフエジニア
杉本芳之助十一

Hotel Asakawa
ホテル川淺
雄米川淺主館
ノロエスチ線 ビリグキ驛

すしそば あをやぎ
御料理
コンデ坂上三十三 電話二…一九四八

御料理つるのや
聖市コンセレイロ、フルガード四三

Dr. k. DAIAN
MEDICO-OPERADOR
PARTEIRO
ARAÇATUBA
内科 外科 產科 婦人科 電氣治療 ドットル 大庵喜八
北西線アラサツーバ 大阪兄弟商會裏隣
神經病 腦病 腦氣 レウマチス 貧血 商術 メイレキ 脚白 中風 子宮 淋病 マレツタ アメーバ 醫術 胃腸 神經衰弱等 慢性諸病 針灸療法 溫灸療法 マツサージ術

川原療院
リンス市 ビラアメリコ
難病者の福音
入院を諾します

眼科專門醫
加藤憲
リンス市イルスイマガ街五八

CLINICA DENTARIA
KAMEKITI YAMAMURA
Caixa 101 Rua Uruianga Pennapolis
伯國免許醫科
山村醫院
ベナンプリス市
ウルタガンタル街

BAR ETTO
家具類勉强します
江藤バール
江藤子之八
ビリグキ
パロンドリオブランコ

移轉開店御披露
兼ねてガルサ町に於て多年の間皆々樣方の特別な御引立てに依り今日を築き得ました弊店は當ベラクルーズ目拔きの場所に移轉致し今回更に舊倍する豐富ざん新なる品物を安價に仕入れ日頃御贔負に預る皆々樣に「買いよい店」「安い店」として安心して買つていたゞく樣心掛け顧客本位に勉める覺悟ですから今後御出町の時には是非御一度他店と御比較立寄りの程を御願申上げます
パウリスタ延長線ベラクルーズ町
上田商店
郵函 三四
お客樣

一九三一年度 珈琲採收の集穫契約
採集……百拾リツトル入一俵に對し二ミル支拂ム
支拂法……拾五日毎に採集高に應じ現金で支拂ム
義務……契約家族は採集後塵埃掻擴をなす義務あり
當耕地は常時落果集をやつて居る爲め、半掻擴の狀態にある故、千株の塵埃掻擴に對し六拾ミルレースを支拂ム
保証……耕地は採集の末、塵埃掻擴相談後本契約保証の爲め各家族收入の三分の一を支拂に積立つ可し
當耕地所有樹數は壹百万株以上にして、本年度收穫豫想は約二十五万アローバ也
當耕地は良家屋、清飲料水、豚飼養場、フバ水車、精米機あり、耕地常備の藥劑店、雜貨店あり、購買方は家族の自由
(尙詳細は當社へ郵便御問合を乞ふ)
北西線カフエランジヤ驛
リオ・フエイヲ珈琲會社
シヤンテンブレ耕地
總監督 ギレルメ・エグラス

來れ!! パウリスタ延長線 土地大賣出し
延長線中でもずぬけて素晴しい
一、場所 パウリスタ延長線ベラクルーズ驛の兩側に添ム處女林
一、海拔 六百米內外
一、地點 ベラクルーズ驛から二、三キロ米 其外線路から二、三キロ米
一、地質 パウダーリヨ、ジヤンガーダ黑土の沃地
一、地權 絕對に確實
一、條件 一アルケール五百五十ミルより六百ミルアルケール一コントまで
一、價格 全部珈地帶なれば一アルケール一コントまで
一、支拂 契約同時半金納入方法、殘額支拂方法及期限は數種あり
右賣却本年四月末日迄とす
尙此他貳年生珈琲六年契約の賣却數ケ所有ります
詳細なる御尋ねは左記へ
パウリスタ延長線ベラクルーズ驛前
原口商店內
郵函 三六

HOTEL Marilia
Estação Marilia
新しい原料で美味速席珍らしい「そば」「うどん」「すきやき」
和洋御料理
ホテルマリヤ
麻里利亞町サンルイズ街 大場鶴松

Dr. H. Saito
MEDICO
醫學士 等藤齊
ペルンブカンプ市ルイズ街六五三

商丁展覽會
Marcenaria JAPONEZA
MASSAGI KOGA
BAURU'
金メタル受領
造製具家賣販
バウル市ワシントンルイス街六ノ三、シネマ前
古賀政治
▲電話 三四〇

大阪商船會社
◉日本へ一番早く着く 優秀な新造客船
◉北米經由サントス日本間六十日に短縮 (命令定期毎月一回)
◉日本へラプラタ丸 四月十三日サントス發 四月十五日リオ發
◉日本より ハワイ丸 四月廿五日サントス發
代理店 Santos: Houlder Brothers & Co. Ltd Rua do Commercio, 35
S. paulo: Theodor Wille & Co. Rua Libero Badaró, 52 S. Paulo
◇御歸朝客には神戸から御郷里の內地各港迄弊社船無賃乘繼の特典を設けました、但し沖繩行は各等五割引。
◇日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます。
サントス駐在員 酒寄守 Caixa Postal. 388 Santos

Casa Takeda
Armazem de Seccos e Molhados
Araçatuva
▲內外商品 雜貨 卸小賣
▲農產物 仲買 運搬業
▲旅館部 を是非御利用下さい
武田商店
アラサツバ鐵道線 パールバライーソ町

Hotel Japonez
S. Okiyama
em frente á Estação Noroeste Baurú
御出芭の節は何卒當館に御投宿下さい
日本旅館
バウルー市ノロエテ驛前
館主 沖山心平

HOTEL Estação
Y. Murakami
Em frente de Est.
Makria — L. Paulista
驛前で新らしい部屋澤山な
ホテル・エスタソン
村上義雄
パウリスタ線マクリア驛前

目下マリリヤでどんな藥でもある大勉强の
海老根藥局
藥劑士 海老根喜重

CONFEITARIA Oriental
Bar e Restaurante
Rua Olavo Bilac No. 26
LINS Tel 11
清新なバールとおいしい純粹ブラジル式レスタウランテ
コンフエイタリア おりえんたる
別府しげ子
リンス市オフーボビラック街二十六番 電話 拾壹番

文藝

（投稿歓迎）

戯曲 東方の光 【四】

太田外傳作

二 場

大侮日の夜である。激しく花火の音が響き渡る。家々ではラジオ、蓄音器の奏曲の音律に、足取り合せて踊り狂ふ南國の年も暮れんとす。

舞台　女中、露子の部屋

右壁に故國に殘る父母、兄妹の寫眞が懸けてある。小さな卓子の上には、書翰用紙、インク等が規則正しく置かれ、同じくトルストイーの復活が讀み伏されてある。部屋の隅には花のない花瓶一個、無愛想に備へてある。後方にベットが在り。

露子、物思へに沈み、靜かに登場。

卓子の近くに寄り、やがて力なく椅子に坐り、唄然として何事か屈托に惱んで居る。（時々吐息）

坂川蒼白になつて登場。部屋の戸をノックす。

「まあ、お顔色の惡いこと。どうしたのでございますか。」

「露子！わしは最早やこうした雰圍氣に耐え切らないのだ。中庭ではあの通り、親類達が大侮日を踊り狂つて居る。わしも勵めらるゝ儘に一、二回踊つて見たが、もう〳〵踊る氣にはなれない。露子、わしは人道を踏み迷つて居る。恐しい惡鬼かも知れない。わしの魂は、日に日に乾いて行く。そうして肉體は沙漠のやうに廣莫として崩れて行きそうだ、救つてくれ。この邪道に迷つた一人の東洋人を！露子、貴女は東洋の美しい處女だ。この迷へる一人のわしを救ふのは貴女より他に誰れも居らない。」

「坂川様。貴方は精神の健康を害ねて居らつしやいます。」

「いや精神の不健康ではない。永い間、白人の愛によつて育て包まれて居つた東洋人の魂が貴女の聖靈を受けて、こゝに再生したのだ。この再生すより離れ去る）」

「東の天使よ。この惡靈を追ひ拂つてくれ。わしは氣が狂ひさうだ。（ベットの側に倒れ伏す）」

露子驚いてその側近くに寄る。

「坂川様。貴方は世界で最も榮譽ある日本人です。新生の一歩はそれは〳〵晴くあらねばならないのです。一人の人が再生に於て、少しの不純も、汚れもあつてはなりません。益してや、不純な肉体的行爲によつて救はるものではないと思ふのです。聖なる魂の甦りに依つてのみ、人はは始めて再生の觀喜と、榮冠を獲得することが出來るものです。弱い人間の惡靈を取り去つてもつと强く生きねばなりません。」

露子、一生懸命祈る。何時しかラジオ蓄音器の騒々しい雜音が止んで、センチメタルな場面。

舞台光線を碧色と化す。暫時して、坂川起き直り

「わしは間違つて居た。なんて馬鹿な人間であつた。露子！貴女に濟まなかつた（悶える）何日か謝罪の時もあらう。余もにわしは不純な人間の盲目に捕らはれて居たのだ。安心してくれ。（露子を宥めつゝ）」

聖歌壇

俳句　今川春榮

吹く風に寒い〳〵と囁かき合せける人あり
たれば、とりあへず發句
とりあげて云ふ程にない寒さ哉
我が身にも世にも寒むしや秋の風
色々の事思はゝ月夜哉
何時も腹書の声きこゆるに昨夜は何故か声せざりとある人云ひたれば、其の事思ひ合せて發句
文よまでうちよせにけり時雨哉

投稿歓迎

石井吟社集（第十八回）

「題」蜻蛉、稻刈り、コスモス
初トンボ今日快晴や日曜日　登校の兒等コスモスを折行けり　葦夫
畑中や赤トンボ來るはねつるべ　或る計
雲出れば暮る利鎌や稻を刈る
コスモスに歌あらざりの雨のマド　汀打浪
しとど濡れて稻刈るよ　高き青空よ
乳懸ふる鬼に鎌振りつ稻を刈る　南仙子
葉ビンにコスモス挿して飯うまき　愛橋

●蜻にかゝる細モの糸多き山路かな
●山路に細モ下り初り秋のひる
●足音に蜻蛉立ちし馬の糞

山の峯　ガルサ寸南生

●タクと啼く鳥一つ見えし蜻蛉路
●風過ぎて大樹の枝のゆるぎけり
●日脚あり風少しあり山の峯
●バストあり仔馬廣々と遊び居り

雜詠　汀打浪

山中やものに力湧る秋の水
コスモスの濕り地霧の襲い來る　足病む
片々に靴と木履の野　分け帶
夜中柿を得て
紅の柿得て妻を呼びにけり

三浦鑿君の半面（上）

中西生

日伯社と私の關係は、一寄稿家と云ふ程度に過ぎなかつたが三浦君とは最近一、二年隨分親しくした。古い時代の三浦君は知らぬが、最近の三浦君の公私に就ては、恐らく私が一番よく知つて居るかも知れぬ。それ程私は三浦君と深く交はつて居つた。

此の二、三年、テニスと圍棋に熱中して、閑暇さへあれば、ラケットを握つてチエチの運動場によく出掛けたものである。それが日曜日ばかりでなく、天氣さへよければ、午後は普通の日でも、社で運動シャツに着替當日も揮旗が先きに止めると云へて出掛くると云ふ風で、よく羨ましい身分だなあと「ヒヤカシ」たものである。

岩本六段の來伯以來、君の棋熱も急に上騰して、飯の合間、飯椀を抱へ乍ら本と棋盤と首引きする位の熱心さで、正に相手を漁つて歩くと云ふ風だつた。

私には棋のことは分らぬが、性格そつくりの棋を打つ君のことだから、相手に依つて其の興味は余程違つて居つたらしい。

よくそんな語氣を漏して居つた岩本六段をルスの停車場に送つた當日、ゴ敵の農業のブラジル社長揮旗深志君と落合つて。ツルの家で三十時間寢ないで打ち續つたと云ふ程熱心で、其の日も揮旗が先きに止めると云つたから、揮旗が敗さと云つて笑つて居つた位に、ゴには性魂を打ち込んで居つた。

獨逸語も出來る、英語は自信がある、獨文は不自由ない、漢文の文句も淀みなく讀み下すと云ふ實力を持つて居つた。日本の新刊にも眼を通すと云ふ具合で、務めて遲れざらん事を期して居つた。

三浦君の姿を見れば、あのブラッサ・コングレソの新聞賣子は、獨逸新聞とブラジル新聞の三種を揃へて出すと云ふ位に新聞賣子にはいゝフレゲイスであつた。

漢文は相當に出來た。手摺りの唐詩選を「どうだ、ブラジルでは珍らしいだらう」と云つてはみせて呉れたものだ。私は其の度毎に自分の幼年期を顧みて其の四角い字を見て、漢學塾に四年通つた懐しい恩師のキビラの紋服と鐵扇を思出した。

松岡博士から送つて來る獨逸判の新刊書を讀んでは、獨逸の新思潮を披露して居つた。

最近酒は弱くなつて居つた。然し弱くなつたと云はゝこと然し弱くなつたが、それでも決して敗けぬ氣を出して飲むことはしなかつた。俺はもういゝ、おい君飲まぬかと云つては、ウキスキーの角瓶を私の前に押し遣ると共に、よく自分の杯を伏せた一杯飲むで陶然とした時、糸に合はせて、清元をよく謠つたブラジルに二十年近くも居つてあれ位くづれないで謠へるからあれは余程東京時代にやつたものに違いないと、私は揮旗君と話したことを今でも記憶して居る。

然く君の喉は堂に入つて居つた。秘藏の支那判の本と共に清元がうたの本などを自慢そうに見せたこともあつた。

創作　牧場の娘（三）

アラサツバー
山香子訳

この事があつて以來、千代はもう、どんなに二親が進めても學校へは行かなかつた。

それから十四の年まで、表面的には少くなくとも、幸福に暮した。其の年三月から彼女はパトロンの所へ子守に行つた。母親は、あまり奉公にやる事をこのまなかつたが、千代は自分の無學無能や行儀作法の知らぬのを悲しんで、自分から進んで子守に行つた。

それからの千代は、なほ一層の無口な子になつた。しかしパトロン一家は、千代を非常に誰もが愛した。

無口ではある千代だつたけれども、何事も年の割合によく氣がついて、言はれぬ先に仕事でもしてしまうと云ふ風だつたので、奥樣に大の氣入りだつた。

中でも一番に千代に目をかけて、仕事のひま〳〵にも勉强を教へて下れたのは、次男のバウロだつた。

バウロはリオの高等學校を中途で体の弱い爲に下つて、この頃此の田舍に來た。まだ十八才の多感の青年で、千代の純眞なものやさしい姿が妙に心をひいた。時によると千代の事で頭が一ぱいになつて、ねぐるしい夜を過ごすことも一度や二度でない樣なこの頃になつた。でも千代は何もバウロのそうした態度を解さなかつた。ひしろ千代は解する力がなかつた。

今の千代は、戀よりも學問に一心だつた。否戀と云ふ字も知らんであらう彼女である。

秘めた苦るしい胸をいだいてバウロは二十二になつた。

四年の間續いた眞劍な初戀は年を重ねれば重ねる程、强く熱をました。

千代はひろん美くしく成長した。生まれた間々の聖らかさに教育が加はつて、なんとも云へぬゆかしさが千代を一層けだかく見せた。

奥樣は千代が自慢で、どんなお客の時にも千代にお茶をはこばせぬ事はなかつた。又どの客も〳〵、老も若きも、千代の美しさを心からほめちぎらぬ者は無かつた。

事實、千代はそれ程人を魅惑する力があつた。けれど千代自身は何も知らなかつた。

千代は自分の無學をまだ悲しんで、より一層勉强するのであつた。今ではバウロにも負けぬ位、否バウロ以上と云つても決して遜色ではないだけに知識が

して遜色ではないだけに知識が

或る日、それは晩春の夏も近づいて、木々は一せいに綠の色を增し、バウロの胸も一層なやみにもだへ苦るしむ頃、突然りオ・ダンスなじのみジャポネースである、原田和夫が尋ねて來た。ひどく元氣のない顔をしてそれでも「やあ」「やあ、ひさしぶりであつたね」と快活に、もしかしたら快活につくろつてゐるのかも知れないが、とにかくそう云ひながら椅子にすわつた。暫らくは別れて以來、たがひの身の上を話し合つてゐた。

「實はバウロ。オレは苦るしい實に苦るしい。醫の娘に戀してね、あゝ名前かい、絹代つて云んだけれど、とてもの美人でね。すつくりした姿、ばつちりした目。あゝオレは彼女無しでは生きてゐられない。絹代も俺を好いてくれるだらうと、僕は思ふ。いやたしかに愛してくれてゐると僕のまよつた、まなこにはうつるが所が絹代の親父さんが、少々頑固なんで許るしてくれそうもない、それでひしや〳〵して君の所に遊びに來たのさ」

一時も話をやめて和夫は、やけに煙草の火をつけた。

コツ〳〵、靜かにノックして千代は茶を持つて入つて來た。うつむきかげんに和夫に向つて會釋したけれど、和夫は窓からはる〳〵見わたせる牧場を眺めてゐたので、誰かしら入つて來た事は知つて居るが、千代の樣な美くしい娘が、自分に向つて挨拶した事には氣がつかなかつた。

バウロは和夫に向つて。

「おい君、これが僕がさつき話したチョロだ、ポニータだらう」

と云ひながら、千代に、

「この方は、僕の仲良しの友達で、お前の大好きなジャポネースだよ。お名前は和夫原田」

とひき合した。

千代を一目みた和夫は、自分の目の錯覺ではないかと、疑ふ程おどろいた。あまりに愛人の絹代にその儘であつたからである。

も少し肉があつて、はき〳〵した態度をしたならば、和夫よりも絹ヨと間違へたのであらうそれ程よく似ていた千ヨも、又和夫を見た刹那、今までに心の中にあつた幻が、この世に自分の目の前に現られたかと思ひ惑つた。

是非御家庭にお試し下さい
印 油醤
富士山醤油醸造所
藤澤豊次郎
北西線カフエラダンアア驛

Dr. H. Saito
MEDICO
醫學士
等藤齊
サンパウロ市イコンフンデイ街六五三……六

すし　うどん
そば　御料理
あをやぎ
コレデ　坂上三十三
電話二…一九四八

御料理つるのや
聖市コンセレイロ・フルダード四三

Dr. k. DAIAN
MEDICO-OPERADOR
PARTEIRO
ARAÇATUBA
内科　外科　産科　婦人科
電氣治療
ドクトル　大庵喜八
北西線アラサツーバ
大原兄弟商會斜向

川原療院
神經痛　關病　關氣　レウマチス　貧血　歯痛
ルイレキ　眼白　中風　子宮　淋病　マレリア
アメーバ　眼術　胃病　神經衰弱　婦人病
針灸　溫灸　療法
マッサージ術
リンス市ピラアメリコ入院を諾します

難病者の福音
加藤憲
眼科專門醫
リンス市ルスイル街五八

CLINICA DENTARIA
KAMEKITI YAMAMURA
Caixa 101 Rua Urutanga Pennagollo
伯國免許醫科歯科
山村醫院
サンパウロ市ナンベ街ガンタルウ

BAR ETTO
家具類勉强します
江藤バール
江藤子之八
ピリグキ　ペロンドリオプランコ

HOTEL Marilia
Estação Marilia
新しい原料で美味速席珍らしい
「そば」「うどん」「すきやき」
和洋御料理
ホテルマリヽヤ
麻里利亞町サンレイズ街　大場鶴松

來れ!! パウリスタ延長線土地大賣出し
延長線中でもずぬけて素晴しい
パウリスタ延長線ベラクルーズ驛の兩側に添ふ
一、場所　處女林
一、海拔　六百米内外
一、地點　ベラクルーズ驛から二、三キロ米
其外線路から二、三キロ米
一、地質　パウダーリヨ、ジャンガーダ黑土の沃地
一、地權　絶對に確實
一、條件　一アルケールより數百アルケールまで
一アルケール五百五十メトルより六百メトル
一、價格　全部珈琲地帶なればアルケール一コントまで
契約同時半金納入方法、殘額支拂方法及期限は數種あり
一、支拂
右賣却本年四月末日迄とす
尚此他貳年生珈琲六年契約の賣却數ケ所有ります
詳細なる御尋ねは左記へ
パウリスタ延長線ベラクルーズ驛前
原口商店内
郵函　三六

Escriptorio Commercial e de Advogacia do
DR. ZOILO DE MEIRA
SIMÕES
一、珈琲栽培四六年契約者、或は珈琲果半分付條件の就勞者或者の周旋
二、珈琲收穫後ダン保珈琲問抵當による或は鑑畫擔狀但保の貸金の周旋
三、珈琲園及土地賣買、或は股書の書換え、止むを得ぬ負債の整理等々は
左の商務辯護事務取扱所へ御一報下れば万事御相談に應じます
カフエーランジャ町ノロエスチ銀行前
商務辯護事務取扱所
ドットルゾイロ・デ・メイラ・シモンエス
右秘書　右田善太郎

HOTEL Estação
Y. Murakami
Em frente de Est.
Maliria— L. Paulista
驛前で新らしい
部屋澤山な
ホテル・エスタソン
村上義雄
パウリスタ線マリリア驛前

目下マリリヤでどんな
藥でもある大勉强の
海老根藥局
藥劑士　海老根喜重

CONFEITARIA Oriental
Bar e Restaurante
Rua Olavo Bilac No. 26
LINS　Tel 11
清新なバールとおいしい
純粹ブラジル式レスタウランテ
コンフエイタリア
おりえんたる
別府しげ子
リンス市オラーボビラック街二十六番
電話　拾壹番

日本近信

政界伏魔殿動く
研究會の青木子ら 宇垣氏の立擁運動
前田子一派反對して會内動搖 あきれた妄動振り

貴族院の政黨化の弊—幾度かに快よからず極力この運動を阻叫ばれていまだ何等の改革の途止せんとしつゝあり

に つかざるこの問題は、濱口首　政界伏魔殿の稱ある子爵團研相の登院後の容態如何……或は究會は内部の動搖いまや漸く甚内閣總辭職か……の想像と相俟だしく、青木子にしてこの自己つて再び擡頭するに至つた をしらざる妄動を强行すれば往

即ち貴族院に最大黨派を誇り年近衛公等を脫黨せしめた時と

口に是々非々を唱へて政變あるごとに裏面に獵官的策動をなし同じく再分裂するかもはかられ

國民の眉をひそめしめる研究會ぬ形勢である

は濱口内閣倒壞後、貴族院殊に研究會とよかざる安達内閣の出現を嫌ひ宇垣陸相を擔いで、研究會の出店内閣をこね上げる時

だ錨誤的妄想を抱き、青木信光子一派がにわかに暗中飛躍を開始し、一方貴院の空氣を硬化せしめて濱口内閣に詰腹を切らせる正面的攻擊のほかに、墓面において宇垣陸相を動かして乘り出しを注意せしむべく努力してゐるが、青木子と相對して一方の旗頭らである前田利定子一派は、青木子のこの醜惡なる妄動

陸軍大演習

今秋の陸軍特別大演習計畫は參謀本部より今日左のごとく發表された

▲演習地—主として熊本縣下

▲期日—十一月十日演習守備隊集合

十二日より十四日まで演習實施

十五日　觀兵式

右につき金谷參謀總長は宮中に參内し陸下に拜謁委細奏上御裁可を仰ひだ

内閣總辭職の二つの場合
議會中と議會後で 問題は大分ちがう

濱口首相が登院後健康が許さずして總辭職を決意するに至ればその時期が次の政權に重大な關係を及ぼすわけであるが、第一の場合として議會中ならば現内閣の政策を實現せしめる目的から政權が民政黨に再びくるのは必然であると解されるが、第二の場合として議會後ならばその可能性は多少減ずるのであるまで民政内閣を持續せしめ政策の遂行を計らねばならぬと、この二つの場合を豫想して與黨首腦部は苦慮してゐるが、現にこの不安が黨員に反映して種々なる暗流が流れ始めてゐるのでもし問題が實化した時には大紛糾を重ねるであらう

自殺大流行

東京の二月の平均一日六名に上ぼる

失業…寒氣…不景氣……碌な言葉のないいまの東京の世相を語る現象として、二月の自殺は一日平均六名に上るに至つたと一日平均六名に上るに至つたとの大學卒業生の就職率は昨年同期より半減か三分の一で、帝大では醫學部、工學部、理學部は四、五月ごろまでには大體片づくと云はれて居るが、法學部經濟學部文學部の千五百餘名はきまつたものいまだ廿三名で、商大では昨年の三分の一、慶應では職がないなら三四千圓で獨立商賣をやると云ふものが相當あり、流石ブルヂョア大學であるが、明大では藥行商人の廣告まで控室に出てゐる悲慘さである、早大では田舍にかへつて村長さんでもやらうとあきらめてゐるものが大分あるとのこと

藥行商人までも志願の大學卒業生
就職口は去年の半分 村長さんもいゝ内

血みどろな就職戰も効なく各大學の本年度卒業生

日蓄入りをやめ 宮武投手渡米か
郷里へ寄せた意外な手紙 注目さるゝ今後

慶應の名投手宮武三郎君の日蓄入社は三百圓の初任給といふ鳴り物入りで宣傳されスポーツ黃金時だ世評囂々としてゐるが、當の宮武君としては純眞な氣持で入社ときめたに抱らず各方面に意外な波紋を投げ社會問題化したのを惱んでゐることは事實で、それかあらぬか最近宮武君は一旦確定した日蓄入りを俄に中止した旨高松市の緣戚に手紙を寄せ今後の身の振方については「知人をアッといはせてやる」といつて來たといふ、宮武君の外國行の話は去年の暮ちよつと出て友人間でも同君が米國へ行き職業選手の群に入つたらすばらしいがといふ話もあつたが日蓄入りのためこれが立消ゐとなつてゐたものである

ところが最近の世評を氣にやんで宮武君がまたその氣になつたのは極めて自然であつて、すでにヤンキー軍のハンター氏に會つたと云ふのも事實で、一說には渡米してバラマウントに入社すると云ふ噂もあり宮武君の今後は非常に興味をもつて見られてゐる

早川雪洲君 拳闘の審判

アメリカから歸つてボクシングの世話業にしてゐる渡邊勇次郎君主催で今日拳闘大會がひらかれたが、その審判には早川雪洲君があたると云ふので仲々の人氣である

副作用のない完全な輸血器
効果もまた著しい 吳の日下博士の考案

吳海軍共濟組合病院外科部長醫學博士日下部且三氏は多年の臨床的經驗により改良輸血器を考案したがこれを同病院講堂で開かれた第七回聯合醫學集談會で發表した、從來の輸血器は輸血者の靜脈をそのまゝ受血者注射して ゐたので輸血の効力を減殺されるばかりでなく惡寒、發熱

華族放蕩で首をくゝる
伊藤博邦公の次男 男爵清水博春の事

去る二月一日名古屋市南區熱田神宮神域瓢たん池のほとりの古木に縊死してゐる洋服姿の青年紳士の死體を發見したが身元不明で市役所に引き渡し八事墓地に假り埋葬しておいたところ、三日目になつて死體の主は意外にも伊藤博邦公爵の次男にあたる男爵清水博春氏(三〇)のなれの果てと判明、自殺原因は極秘に附せられてゐるが、探査した結果によれば同人は二月廿八日逗子の自邸から家出したもので夫人梅子(二七)令息安三郎(三)があり博邦公は神經衰弱のため自殺したと稱してゐるが、勤め先の王子製紙の一同僚の言葉では清水男爵は花柳界に頻々出入りして借金のため首がまわらず首を縊つたものであらうと語つてゐる

三月上旬貿易

三月上旬貿易は　(單位圓)

輸出	二六・七二五・〇〇〇
輸入	三三・八五八・〇〇〇

昨年同期よりそれ〳〵

輸出	二〇・四〇二・〇〇〇
輸入	一七・四三九・〇〇〇

の減である、重なる輸出は

生糸	八・四五七・〇〇〇
綿織物	五・六三一・〇〇〇
絹織物	一・〇〇七・〇〇〇

珈琲精撰。精米
倉庫業等
特に日本人のために便宜を圖ります
サレム、イ、コンパニア
北西線グワキサーラ驛
Salem & Cia Ltda
Machinas de Beneficiar
Café, Arroz e Algodão
Guayçara Noroeste

福岡縣浮羽郡水分村出身
栗木貞次郎君ニ告グ
住所知リ度シ
又本人御承知ノ方ハ御一報相煩シ度シ
ノロエステ線リンス驛
田籠定吉

女中さん至急入用
一、十七八歳以上身体壯健にしてまじめな獨身の婦人
一、ブラジル語の必要なし
一、仕事は炊事、洗濯、掃除等家庭の雜務
一、この廣告を止めた時は既に雇入れ濟みにつき必要なし
希望の方は至急御來談あれ
委細は面會の上
リンス市ルイズガマ街
ホテル パール　しばやま

Marcenaria JAPONEZA
MASSAGI KOGA
BAURU'
商工展覽會
金メタル受領
バウル市ワレントンルイス街六ノ三(レネマ前)
古賀政治
家具製造販賣
▲電話　三四〇

告示
今般伯國聯邦臨時政府は一八八九年(明治二十二年)一月一日以降伯國領土内に於て出生したるものにして未だ伯國側に出生屆出をなさざるもの又は既に屆出たりと雖も其の登錄場所不明なるものは從來の規定の如何に拘らず來る一九三二年(昭和七年)十二月三十一日迄に漏れなく屆出をなすを要する旨の規定を公布せるが、右期限内は何等の罰金等を課せらるゝことなく之を受付くるも、期限經過後之を伯國官憲發覺する處となれば伯貨二十ヨル以上百ミル以下の罰金を課せらるゝ規定も有之處、未登錄の向多々有之べしと思考せらるゝに付此際至急最寄民事登記所へ屆出て置かるゝ樣致度し
右告示す
昭和六年三月
在サンパウロ日本總領事館
在リオ、デ、ジャネイロ日本領事館
在バウルー日本領事館
在リベロン、プレート日本總領事館分館
在サントス日本總領事館出張所

塩酸キニーナ錠實費取次
今年は各地にマレータの流行が激しく同胞の之に惱まされて居る方が澤山居られるとの事で本會は昨今の不況に鑑み奥地で困つて居られる方の爲にマレタ特効藥鹽酸キニーナ錠を代金後拂ひで實費取次をします。
御入用の方は至急申込み下さい、代金は左の通りです。
鹽酸キニーナ錠劑　(二二〇粒入)
一瓶　十五ミルレース　(送料本會負擔)

印刷物無料配付
左記の印刷物無料配付します。御希望の方は送料郵便切手を添へて申込下さい。
一、ブラジルに於ける病氣と衛生の注意
一、育兒法
一、トラホーム
(送料各冊百レース。書留郵便送料付は四百レース)
一、マレータをどうするか
一、チブスはどうしてうつるか
(送料不要)
在ブラシル日本人同仁會
Dojinkai Caixa Postal, 2976 S. Paulo

フオルマ・パスト募集
申込み五月廿日迄
面積……百五拾アルケーレス
地點……パウリスタ延長線マリヤ市街地迄十キロ内外
ポンフイン耕地内
地味……パウダーリヨ地帶
米棉其他あらゆる農作に最適契約其の他の詳細は左記迄申込まれたし
マリヤ町ルアキンゼセツテンタ　トレス郵函一一一
濱田虎雄

Shizuo Hayashida & Magalhaens, Ltda.
Compradores de Café e Cereaes
com Machina de Beneficiar
Café e Fuba
Mirandopolis
Estacão Lussanvira
株式會社
北西線ルッサンビーラ驛
ミランドポリス
ドットル・セザ・マガリエンス
林田鎭雄

珈琲精撰工場並雜穀買入
珈琲精撰の御用命下さい　尙其委託販賣も致します　精撰工場内にて現品即金買も致します　御希望によつては珈琲コーヒー一俵に對して二ミル乃至三ミルレース程度の前貸付も致します

米製燒酎　母國はかほり
四季醸造逼ク鴻公諸彦ノ需要ニ應ズ
や醬油　安價提供
ノロエステ グワランタン
讓造元　緒方龜彦

御旅館朝日亭
女給さん入用……
和洋御料理並に果物商
中田菊治
サンタ驛カフエランヂヤ町(日本藥店隣)

Hotel Ushio
Caixa Postal 328
Rua. Rangel
Pestana 44 Santos
大阪商船指定切符取次所
ホテル潮
電話一九二四番
郵函三二八番

アラサツーバ市
ホテル東京
吉田壽三郎

HOTEL
日本郵船會社特約乘船切符取次所
御歸國御乘船の方は出帆二日前にお出で下さい
Baurú
澤尾
バウルー驛前

○品質本位　○薄利多賣主義
○美味しくて割のきくお醬油は
黑島印醬油
クロシマ醬油釀造所　黑島伊平治
北西線プロミツソン驛セルチッペ街

熊本協會の「新村植民が結束して事務所改革斷行に立つ」

有富主事代理を監禁

ルサンピーラ驛奥五拾キロの処に展開する熊本海外協會の設立せる新村殖民は、去る廿五日より一同結束して事務所員有富一夫氏の横暴に反抗し出した

去十四日主事の藤垣儀一郎氏が殖民地を去つて出聖するや、主事代理の有富一夫氏は殖民一同に向つて「自分は今度愈々歸國する事にしたが旅費がない、それで殖民一家族より粂三俵づつの寄附をして呉れ、自分が歸つたら熊本海外協會本部に話をつけて、精米機や製材、珈琲精撰機械を据ゑつける樣屹度出資させる」と云ふのであるが……

先來ブラ拓より經營資金五拾六コント殖民の爲め出資あつたにかゝはらず、其金では僅かばかりの食料を購入して殖民に貸しつけたのみで、殘部は主事共が珈琲を栽培するやらして私腹を肥やし居る跡蹟充分なのと、學校建築費三十六コントスの下附をもどブラ拓よりうけおきながら拾八コントス校舍に使用して居るのみで、其大工賃も尚ほ五コントス五百未拂ひのまゝにして居り殘金の行衛を晦らまして居る事、學校建築の場所が殖民兒童通學に不便な処に建てたので校舍落成の今日でも一人も通學するものなき狀態の事、事務所の帳簿が至つて不整頓である事殖民中に病人續出するも醫藥に關し周旋をせざるのみならず、神經質的にガミ〳〵吸鳴散らして殖民地主事代理の役をなさぬ事等にて、殖民者一同愛憎をつかし居たる処へ、粂三俵寄附せよなどゝ云つて來たので、殖民一同結束して起ち事務所を占領し、有富主事代理を殖民の一人佐藤益治氏宅に監禁し佐竹祐虎書記も彼の畑に逐やり、事務所の書類一切を殖民側で押収した

斯くて殖民一同の代表委員和田周一郎及水上安雄兩氏は事務所用の石油四箱を伯人に賣り二百ミルの旅費を工面してもらい、去る三十日バウル市に來り本社技香山氏に相談し領事濱口氏に訴へ出た、濱口領事より聖市總領事館及ブラ拓水島主事へ電話で交渉の結果直ちに藤垣主事が聖市より歸殖、近々ブラ拓より水島主事も該地へ出張事件を解決させる事になつた、和田水上兩代表は不取敢歸殖して此趣を殖民一同へ傳達すべく、四月一日朝歸殖の途についた

因に新村の家族數は約百家族で昨今腸チブスともマラリヤともつかぬ熱病が流行し、青年が五、六名藥滋もなく呻吟して居る由、死んだのも二名あると

四月三日

祖國日本では二千五百九十一年目の神武天皇祭である

クリスト國ではセマナサンタの中日である

前日伯新聞社長 三浦鑿氏の追放出國

在伯日本殖民に反對した前日伯新聞社長三浦鑿氏は去る二十六日、サントス港發の獨乙商船モンテ、オリビア號に乘りハンブルグ港向け出發した

と當州デアリオ、ナシオナル紙は去る二十八日發行紙上第二頁面に報じて居る

デアリオ、ノイラ紙二十七日廣告欄、三浦氏の今度の事件を依頼した辯護士が發表した処によれば

三浦氏は二十六日、サントスに送られハンブルグ行汽船に乘り獨逸をさして出國すると斯くて彼三浦氏がハンブルグ港より日本船に乘り換へ、久し振りの祖國向けをやるか否か不明である

である

オ、エスタード紙二十七日雜報

日伯新聞社長三浦鑿氏は司法權の發動通りにサンパウロ警察よりサントスに向つて送らる可く、二十六日汽車にて出發した

サントス港より彼三浦氏は海國向け乘船するだらう——と報じて居た

●●●●●●●

三浦氏は再調査の訴容れられモンテ、オリビア號よりパイヤ港にて降ろされたとか流言する者あるも、恐らく事實にあらざる可し

巷間傳ふる処によれば

アラサツーバに於ける 全ブラジル柔道大會

日本武道の神技を誇る

五月一日晴れの大試合

ノロエステ線アラサツーバ市に日本人會主催同グワタンブウ會德青年會後援の下に來五月一日（勞働祭日）を卜し午后一時より アラサツーバ市レキレオ館に於て擧行する全ブラジル柔道大會の首腦者は、斯道の普及を計る青年の心身鍛練と相待つて日本武道の精華たる柔術の世界的宣傳に努めるのだと、軒昂たる意氣込を以つて同大會の準備に全力を注いで居る

演技種目は柔道各種型、個人試合、有段者模範試合、番外として外人の「ボッキス」及「ルッタロマノ」との對抗試合に等にて審判者には四段樽松男三氏之に當り審判は講道館審判規定に依る

現在出演申込者はピリグキより山本、山元兩初段以下二十名アラサツーバより五名グワタンブウより十五名都合四十名に達し尚ほ二三の外人選手も參加する筈だが今月二十日の締切り日までにはアリアンサ及各方面から相當申込みある見込で多數猛者の出演を期待されて居る

本大會出演の首腦者側の顔ぶれは、先づ當日の審判者たる△四段アベ松男三氏は鹿兒島出身で元鹿兒島縣立第二中學校に博物兼柔道教師であり、且同師範を勤めた人である、かねて熱帶地方農業狀況の視察を志し曾て南洋方面に遊び昨年六月同目的を以て渡伯しアラサツーバに在住せる同縣の先輩大原、今村兩氏をたより、行きて平常の志望を實地に就き体驗し、夜はグワタンブウ會德青年會員に柔道の指南をして居つた、氏は本大會には審判者と共に其妙技のかず〳〵を示されるであらうが、就中ビストル、刀劍類を持つ敵に對する當身の一法、極の型は特に氏自が演ずるとのことなれば當日第一の見ものであらう

△四段内藤克俊氏は矢張り鹿兒島高等農林學校の出身で後ち北米に渡り大學を卒へアマゾン興業會社に技師たりしも職を辭して現今セントラル線スザーノ驛に在留中である、本大會の開催につきアベ松氏より案内狀を差出してあるそうだから多分出席ある筈

△三段石光滿氏は長崎高等商業學校出身、前母校ラグビー蹴球部主將として、ボートの選手として名高いが更に本年二月下旬ピリグキにて擧行されたラグビー蹴球大會の首腦者として、將又同地方青年に柔道熱を勃興せしめて一段と名を高めた人である、されば今回の柔道大會も氏の盡力によつて成立すると云はれてゐる位最も熱心なる首腦者の一人である

△三段芳田善作氏は熊本縣出身の人で只今リンス驛上塚第二植民地に在住中である、先頃熊々アベ松氏訪ねて勸誘の結果出演されることに決定した、氏は本大會に於て投げ型、固の型を出演すると云ふ

以上四氏共講道館の流派にて日本武士の爲め万丈の氣を吐く壯烈無比の猛合試は定めし見もの であるに違ひない

準備は着々と進められる マリリヤ青年會主催の 大運動會

角力大會と併せて

來る本月二十六日に擧行

興進の意氣に漲ぎるバウリスタ延長線で最初の催しであるマリリヤ青年會主催の陸上大運動會は角力大會を併せて愈々本月廿六日マリリヤ町フットボール競技場に於て擧行されることになつたが、この競技會が同地方では第一回目である近郊が新農村地帶であるだけに、今度の競技會出場選手が如何にフィールド、トラック兩方面に記錄を示すかとファンをして興味づけられてゐる、何分新渡航者青年連の大部分が運動熱の旺盛なる祖國の舞台に活躍した經驗者であるだけに角力大會と共に當日の競技は人氣の絶頂に達してゐる

タッタ五ミルレースの手數料がなか〳〵徴收困難で未納額で既に數コントスに達し之まで再三再四督促するも其効果がなく書記の給料も三ヶ月滯り其他建物稅やら郵便局への支拂やらが出來ず、こともと頭痛鉢巻きの態である、之に對し從來幾度か不納者の郵便物取扱拒絶方を實行せんとして其機に至らなかつたが、背に腹は替へられず今度いよ〳〵未納者に最後の通牒を發し、それでも年額タッタ五ミルレースの手數料を支拂はぬ不誠意者には止むを得ず郵便物取扱は斷然拒絶することに決した

手數料不納者の 郵便物は 取扱御斷り

汎リンス青年會の邦人郵便物の取扱事務は一般に多大の便益を與ふと共に責任も重大でそして其手數の煩瑣なることはよその見る目も氣の毒な程である

けれども同青年會の經常費の大會を擧行し午后七時から同地小學校に於て演技會を催開することに決した

上塚第二の 演藝大會

リンス驛上塚第二植民地にては毎年四月二十九日天長節を期し兒童及青年の運動大會を擧行し、夜間は素人芝居の演技會を催開するを常例として今年は其第七回目であるが、カフエー採取の都合にて期日を繰上げ來る十一日午前九時から陸上競技運動會を擧行し午后七時から同地小學校に於て演技會を催開することに決した

カフエーランヂヤ 福原信義組の珈琲が 政府の初買上げ品に

去る二十七日聖市アラメーダエドアルド、プラドにある珈琲級撰定所にて政府珈琲買上げ委員一行の手にかゝつた珈琲は計らずも北西線カフエランヂヤ驛奥の福原信義氏組合の珈琲第三号——四号百五拾俵がお眼にとまり、時下拾コントス二百七十五ミルで買上げられた、其外所謂州賞與金として三コントスのボーナスがついた芽出度さは日本人全体が嬉しいお裾分けにあづかる譯だ

青年機關誌の それ〴〵

中にも「曉鐘」の跳躍ぶり

リンス驛ゴヤンベー青年會の機關雜誌「曉鐘」は一九二九年六月創刊にかゝり今年四月第三卷第二號を發行したが、若人達の努力は空しからず内容の充實と外觀の完成は驚歎に値する、特に文藝欄の作品に於て万丈の氣を吐いてゐるは同誌の一偉觀で同時に濟々多士の誇りを示して居る、若しそれ印刷技の進歩、編輯方の上達に至つては同種發刊物中白眉の地位を占めて來た、プロミッソンに於て發行せらるゝ「胸像」及「相愛」兩誌は内容の作品に於てこの「曉鐘」と伯仲せるが印刷技に於て一歩を讓れる憾がある、リンスの「共鳴」は内容に於て近來いさゝか退歩せるは遺憾である

曉鐘よ、胸像よ、相愛よ、共鳴よ その純眞の熱と力とそしてそのうるはしき姿に誇れ、常春の世に活きて——（タマキ）

齊藤武雄書記生の歸朝

賜暇歸朝を命ぜられたサンパウロ總領事館勤務の書記生齊藤武雄氏は古關富彌氏の來任を待つて來る六月出發する由

内山總領事の着任期

南阿經由着任の樣に報ぜられて居つた内山總領事は北米經由の旅程をとる事に決定したから來着任期は存外早いかも知れぬ

濱口領事の歸館

去月二十一日ノロエステ線アラサツーバ方面の邦人移殖民地視察の旅に上つた在バウル日本領事館の濱口領事は去二十九日夜歸館した

原口書記生住宅移轉

バウル領事館原口書記生はこの程ムダンサをした、所在はインコンフイデンシヤ街一一の六二番で豪壯の構だ、家賃三〇〇ミル、前住宅は訪問する人毎に「家賃が高い〳〵」の輿論が氏をして移轉せしめたらしい、雨もよく漏つて居たのも原因の一つ

換氣塔

ひしろ武愚なるも文弱なるなかれ、とは藤田東湖の言である。

▲講道館柔道六段コンデコマの驍名を轟して居る前田光世君は、今度多年の功勞によつてパラ州政府から二万六千十三町歩の土地を貰ふた。貰ふた土地の廣大なるには驚かざるいが、與ち可く認められた其功績の偉大なるには驚かざるを得ない▲彼は貰ふた土地を恩師嘉納先生の講道館に一万町歩寄附し殘りの一万六千町歩も日本の公共團体に寄附する希望だといふ▲さすがに彼は武人錢を愛せずして日本武士道の型を實地に示して居る、彼は確かに武實にして文强である▲今度アラサツーバで擧行する全伯柔道大會の審判者たる、アベ松男三君は之も講道館柔道四段の達人だが、見かけは五尺そこ〳〵の小男、その上處女の如くおとなしい、はにかみやである▲どこに鬼神を投飛ばす妙技を藏して居るのか、どこに鐵壁を踏破る壯烈な元氣を秘めて居るのかと疑はしめる位▲林に入つて草うごかず、水に入つ波たゝずと

診療時間　午後三時より六時まで
聖市アアグンデス街八
高岡專太郎
電話　七—四六八三番

は達人の秘術だ、禪家の所謂「龍蛇を捨するの眼正しく虎兕を擒るの機全し」とは蓋し彼の心境を語る言か▲一に澁谷、二に佐藤、三に豊田、四にガーロ禪語意味玄妙にして解するに苦しむ、之を知らんと欲せば宜しく松谷和尚に聽け、喝ッ

爲替　正金銀行リオ支店取扱邦貨一圓に付六ミル四七〇【三月廿八日】

女中さん　至急入用
一、十七八歳以上身体壯健にしてまじめな獨身の婦人
一、ブラジル語の必要なし
一、仕事は炊事、洗濯、掃除等家庭の雜務
一、この廣告を止める時は既に雇入れ濟みにつき必要なし
希望の方は至急御來談あれ
委細は面會の上
リンス市ルイズガマ街
ホテル　バール　しばやま

福岡縣浮羽郡水分村出身
栗木貞次郎君ニ告グ
住所知リ度シ
又本人御承知ノ方ハ御一報相煩シ度シ
ノロエステ線　リンス驛
田籠定吉

珈琲精撰。精米
倉庫業等
特に日本人のために便宜を圖ります
サレム、イ、コンパニア
北西線グッキサーラ驛
Salem & Cia Ltda
Machinas de Beneficiar Café, Arroz e Algodão
Guayçara Noroeste

Escriptorio Commercial e de Advogacia do
DR. ZOILO DE MEIRA SIMÕES
一珈琲栽培四六年契約者、或は珈琲果中分け條件の就樹者從者の周旋
二珈琲教授御ダン保珈琲園抵當による或は鑛業證狀保の貸金の周旋
三珈琲園及土地賣買、或は證書の書換え、止むを得ず買債の整理等々は
左の商務辯護事務取扱所へ御一報下れば万事御相談に應じます
カフエーランジヤ町ノロエステ銀行前
商務辯護事務取扱所
ドットルゾイロ・デ・メイラ・シモンエス
右秘書　右田善太郎

CASA HONDA GUAYÇA
日本品雜貨
本田商店
本田授
グワキサーラ驛
郵函四七

BAR KICHISHE LINS
心地良き簡易な御休憩所
バール　キチセ
吉瀬軍平
ノロエステ線リンス市アベニーダ七、セプチンブロニ

Hotel Shirota
Pennapolis Caixa 261
●穀物仲買●雜貨小間物
旅館
代田商店
ノロエステ線ペンナポリス街
三喜　田代

菓子
和洋御菓子類
キャラメル類
卸小賣
御祝ひ佛事用多少にかゝわらず御用命に應じます
＝注文品は割引大勉强＝
マリヤ驛郵函277
亀屋末廣　梅田友次郎

南米農業經濟資本會社
農家經濟の爲め毎月二拾ミル五拾ミル百ミル二百ミルレースと証券貸出を致します
詳細御照會は左記へ
マリヤ驛町
アベニーダ、サンバイヤ　ビタール九一番
オスカル、モラエス
バーロス

本紙二面五面掲載の連續ものは本週は休載しました

●蠶鯉熱がぼつ〳〵起つて來た、まだ蠶樂の範圍を出ない、ギンタールの中に小池を堀つて鯉の剩身でも食ふと云ふ程度である、發育は早いし生魚の乏しい奥地方にはきつと蠶鯉は盛になるだらう
●マモナーキロサンパウロ渡五百レス、植物性油のサク取け外人觀にも相當注意を惹いて居る
●サンパウロ郊外の蠶鯉熱はソ來の不況から念に勃興して來た、而し種卵賣りが目的の純粹種飼育でまだ卵賣專問キップシ目的のフランゴ賣りまでには行かぬ、之れからぼつ〳〵此の方面に手がつけられるべきだらう
●ビンガーの中にパチャから取つた酒を混ぜることが流行して來た、風味がついて上戸黨の受けがいい
●ジュキヤ線のパチナは海辺のプレジョン栽培のパチナよりも味もよくタイ久力が强いのでアルゼンチンで大好評、此の點だけでもジュキヤ線の山地栽培のパチナは有望視されて來た

農界雜事

美味しくて安價なる
德用麵類は……
日本製麵所
城間經營
リンス郵函二〇三番

次男　滿（七才）儀
急病ノ爲藥石不相叶去ル三月拾九日午後八時ニ死去致シ候ニ付キ生前辱知諸彦ニ謹告仕リ候
尚葬送ノ儀ハ翌日ブロミッソン町共同墓地ヘ埋葬致シ候
追ヲ葬送ノ際ハ遠路御會葬被下且過分ノ御香奠ヲ辱シ略儀乍ラ紙上ヲ以テ御厚志難有奉謝候
昭和六年參月貳拾壹日
ブロミッソン驛
父　東條善藏
母　キク
親戚友人一同

妻　春代儀
藥石効なく去る三月廿四日遂に永眠致候間生前辱知諸賢に謹告仕り候
尚葬送に際しては深甚の御芳情賜り候段略儀ながら紙上を以て御禮申上候
ソロカバナ線ランシヤリヤ驛
夫　板垣泰熊
父　板垣伊八
親戚　豊田仁吉
總代　山室弘造
友人　中島清二郎
青木八十治
總代　前田幸一

坂東伏容陣

(27)

切羽から切尖まで、生身二尺八寸の手ごろな反、うすづく月のやうな刃金の沸ひらは真宗に彷彿つとして、人を斬って血も乘らずといふ趣がある。而も暮坂峠や小舟木で、幾多の生靈を吸ひこんだ刃金の上づらには、まざ〳〵とした鮮血の匂ひが漂つてゐる。

「可ウシ。銀蝶には氣の毒だが明日の夜は針屋の半次を……」と密かに思ふ心の影が、ニタリと洩れて、手の冷刀に凄い笑が映つた。

鞘て立ち上つて、打粉箱を取り出す。輕く二ッ三ッ粉を打つて懷紙でグイと扱いた時、先之助は此の名刀に毛一筋ほどの傷を見出して眉をひそめた。併し、三度二度ピュッと風を斬り試してその微かな空氣の震動を聞いて差閊へないと思つたらしい——ピタリと鞘に納めて、畳寢の木枕へ手を伸ばした。

その翌日、乾先之助は書やゝ過ぎると其所を出た。彼が近頃の棲居としてゐる此の邸内は、眞陰流の老大家戸ヶ崎知道軒が門生三千と稱してゐる小石川茗荷谷の鐵心洞劍塾である。彼はその奥庭の茶室を借りてゐた。根岸の御隠殿までは大分の道、と云つて駕も嫌なのであらう。ぶらりと例のふところ手。併し、今日は心なしか、腰の葵下坂の一刀は目立つ。

一

「先生、だいぶ又御酩酊のやうでございますな。」

黄昏である。しかも根岸の夕ぐれは秋のやうに静かだ。お行の松、蘆雪庵から出た四人のうちでも、平手酒造の足どりが一番あやしい。大事を控へてゐる間際だから、大學と佐仲の心配は一緒についてゐる針屋の半次の眼にも氣の毒なくらゐ。

「大丈夫でございませうか。今宵でござる、これから水鷄橋の袂で、乾先之助を待ちうける手筈になつて居るのでござるが。」

「諄い！」と造酒は醉の甚しい時ほど青くなるその顔に、不機嫌な皺を眉に立てた。

「ぐわうッ……」といふ水音が二三丈も足の下にしてゐる。遙かに低い、下谷の町の薄靄から卵色の月が大きくさしのぼると、上野の後ろ崖より御隠殿へ架けた一ッ橋が檜の中に浮いてくる。

そこへ、ピタリ、ピタリ……と草履の音をさせて來た乾先之助の影。

橋袂の、施行小屋に掛けてゐた黒川兄弟は、はッと思つて平手造酒をみると、

「それッ立たぬか！」と反對に急き立てられた。

先之助の眼は、ひたすら針屋の半次と銀蝶らしい影をたづねてゐた。で、ばら〳〵と身近くまで飛び寛つてきた黒川兄弟を不覺にも、自分を目がける者とは思はずにゐると、

「乾ッ！」

「覺ねてゐたかッ。」

と大學は斜めから佐仲は後ろから——一氣に拔いて斬りつけた烈電の二刀。

「なにッ。」

と叫んだ先之助の體、地に伏したかとみれば佐仲の袖を拔けて立ち直つた。眼は爛々。

「や、黒川兄弟。」

「よくも存分な恥辱を與へ居つたな。その報いをくれてやるのだ。」

「平手先生、平手先生ッ。」

叫びながら大學は、柄をしぼつて强敵の左側へ廻つて切尖を向けた。佐仲も右寄に青眼に劍を把つて必死の位構り。しかし先之助はまだ拔いてはゐない——ただ二つの眼光をもつて左右の二劍を制してゐる。

「先生ッ、平手先生。」

その間にも又佐仲が頻りに彼の助太刀を促したのだけれど、呈眠つてでもゐるのか、平手造酒は施行小屋に腰かけたまゝ返辭もしない。

針屋の半次は、先之助の影をみると同時に小屋の後ろへ隱れてしまつた。彼の頭では簡單な數の鑑定で、三人に對する一人の先之助は今が最後と思つてゐる。

「諄い！」と造酒は醉の甚しい——今夜からは枕を高くして寢られることを信じてゐるのだ。

「ねッ——」と大學の氣構へ。それに力を得た黒川佐仲、平手には平手の策戰があることゝ思ひ極めて、

「うぬッ。」と先之助の右から拜參の名に免じて命だけは助けてやる。この後拙者の影を見たら今宵のことを思ひ出せよ。

「ねやッ——」と初めてかけた氣當。

こゝと、左側を狙つて揮り被つた大學は、どんと、眼の前に投げつけられた佐仲の體に遮られて一足退く——先之助は見れば、既に佐仲を腰かけに敷いて左の手で悶がく大刀の柄手を捻つて動きもさせない。

「む……」と大上段に構へ直した大學は、持つつばの鳴るほど怒氣に顫へて睨みつめたが、冷冷水のやうな先之助の五體には鬢の毛一すぢなぎつけてやるべき隙も見出せない。

拔きも差しもならない、その息づまるやうな怖しい瞬間になつて、はじめて此方にゐた平手造酒は、落ちくぼんだ眼を刮と開いて、豹が血の匂ひへ探りよるやうに身を延ばしてきた。

二

「大學——」

微笑を含んだ先之助が云つた。

「眼が見ゐるか、この先之助の五體が見ゐるか……不愍な奴そんな足どり、そんな息で人間が斬れると思ふか……」

「ちッ……畜生。」

大學は齒を咬み鳴らした。額は汗油が浮く、今は——今は平手造酒の助太刀が一緻の頼みだけれど、それへ聲をかける餘裕もなければ、まして何をしてゐるかと顧みる隙はない。それ程先之助の眸は既に怖しい爪で大學をそこに竦ませてゐる。

「どうした。斬れぬと思ふたら……

そのまゝ逃げろ、また佐仲の命を助ける程の意地があつたら斬つてこい——斬りこまぬかッ、馬鹿め！」

「汝ッ。」——眞ッ向、ビュッと青光りをさせて、大學が必死をこめた打下し、霹靂とかはる、アッの火と息を大地に吹いて、たゝゝとのめり込んだ魔の淵。

「エイッ。」と脾腹へ電火の一拳が飛ぶと見れば、大學はあらぬ方へ大刀を一閃させてウームと仰向に打ッ仆れた。

「佐仲。」と今度は腰の下のをグッと締めつけて、

「見たであらう。乾先之助の手技はザッとこの位だ。公儀直參の名に免じて命だけは助けてやる。この後拙者の影を見たら今宵のことを思ひ出せよ。愚か者めが！」

うに吐き出すや罵りつけて、つばらか探り拔いた小柄を逆手に持つや、佐仲の頭を押さへつけて宵月代から額へかけた眞正面へ打ッ交へに十文字の傷を切りつけた。

「わッ。」と迸る血沙を兩眼に注ぎこまれた佐仲は、顔を押へて大地をころがる。

先之助はそれにも飽足らず、悶絶してゐる大學の頬にも二筋の小柄傷を入れて、

「好い馬鹿の看板だア。」

笑ひながら、水鷄橋を渡りかけた。

ス、ゝゝゝ——水の影ほど迅く靜かに、施行小屋から走りだした平手造酒。

造酒一流の劍法は、あはや先之助の一命を息と共に吸ひ寄つて行く。

三和流一本使ひの神童と云はれ後に甲源一刀流の秘、無海流の奥義、その他、放浪の旅から解脱してきた彼——しかも若い身を肺に痩せて、幾度とない咯血をみながら、猶、劍魄をうけて生れた彼は、あくまで劍氣に依つて生きてゐると——自らも信じてゐる平手造酒だ。

「拙者に人が斬れなくなつたら拙者の死ぬ時だ——」

彼は常に豪言してゐた。

今乾先之助の體へ、一二間と迫つた時、その細く青白い手はいつか柄を握つてゐた。そして前半身がのめる程前へ出た。

その蛇のやうな身のうねりで迫るや、唯一刀に血煙りをあげるのが造酒一流とも云はれた人のきり方だ、彼は二太刀で人をきつたことのない男、二度と氣合をかけた事が絶對にない男だ。しかもその一氣一刀の下から逃れた人間の命は今はまで無かつた。

その刹那、ピタリと先之助の足が止まつて、はッと振り顧つた彼のけい眼。

「むッ。」と息をふくんで切れた造酒の鯉口、二人の間は四五尺の地獄だ——

HOTEL SHIOWA
ホテル 昭和
館主 平藤作
安くして、御便利の宿
ペンナポリス市カデヤ上側

記念には寫眞
寫眞 撮影は本田館
場所は リンス驛前

Casa Kagueyama
▲自動車運轉業 ▲内外雜貨 ▲農産物仲買
影山商店
影山博史
パウリスタ延長線 ペラクルス驛前

内外小間物 農産物仲買
吉田兄弟商店
リンス驛エスエスクラ線ピリグキ驛 郵函 二七二番

内外商品○小間物○農産物仲買○金物○農産物買入
CASA Ichinose
Araçatuba
一ノ瀬商店
驛ペーツサラア線チエロ
一ノ瀬勘助

リンス市ルイスガーマ街(須賀山商店隣り)
矢部洋服店
◇御希望の方には洋服裁斷法を教授致します◇
今度右の所に店舗を構へ格價低廉ざんす新流行仕上級達を主とし精々勉强致仕候間何卒御愛顧の得本願候也

Casa Sato
ARMAZEM E HOTEL
Pennapolis
佐藤商店に並に日本旅館
佐藤常喜
ペンナポリス驛 ワレントンルイス街 郵函 一〇一番
▼穀物仲買▼内外小間物 聖州新報 其他一般郵便物取扱所

Casa Parana
CAIXA, 103
DUARTINA
内外商品 小間物 農産物仲買
カーザパラナ
安元商店
パスレル棉花會社 理人代 安元青太
パ延長線ドアルチーナ驛 郵函 一〇三番

HOTEL SHIOWA
ホテル 昭和
館主 平藤作
ペンナポリス市カデヤ上側

ジエツリーナ町で一番安い店は
山下藤太郎商店

Missão Japoneza do Brasil
R. Galvão Bueno, 85-87
Caixa 2-X SÃO PAULO
財團法人 聖州義塾
寄宿舍 夜學校
日本語學校 葡語通信教授
主任 小林美登利
聖市ガルボンエノ街 電話七—五八七 八五—二九四
日曜學校 午前八時半 午後七時
大人集會
サンパウロ教會

Casa Hirata
Caixa, 47 Tel. 81
Promissão
反物 雜貨
平田商店
平田千嘉藏
電話 八一 郵函 四七
ノロエスチ線 プロミッソン驛

旅館
御視察の際には是非當館へ
バストス
ソロカバナ線ランシャリヤ驛バストス
移住組合殖民地内
吉永宗義

内外食料品、雜貨商
藤澤醤油特約販賣店
岡田太田商店
パウリスタ延長線 マリリヤ驛サンルイス街 三八

CASA Minematsu
—Araçatuba—
雜貨 小間物 農産物買入 其他
峰松商店
峰松春二
アラサツーバ驛 鐵道線アルトピメンタ町 郵函 二〇八

Y. Shimizu
Cirrugião Dentista
-Promissão
北米最新式
齒科醫
北西線プロミッソン町セルヂッペ街
清水安丸

所次取符切定指社會船商阪大
聖市旅館同業組合
東京館 マツア街 仲村渠三郎 二九一
大和 コレセイロ フルタード街二 坊迫健造
上地 ボニタ街一一 郵函一二二五 上地彌藏 電話 二—一九二一
ときわ コンデ デ サルゼダス街四一 石原桂造 電話 二—二六九〇
旭 コンデ デ ビニヤール街二一 秋田桑三郎 電話 二—一七八二
末廣 コンデ デ ビニヤール街一番C二階 中山忠太郎 電話 二—五六三八
小川 コンセレイロ フルタード街一六 小川源右衛門 電話 二—四四七

新聞廣告無言の商人なり

Hotel e Bar
Alto-Cafezal
ホテル バール 東洋
諸設備あり 乞御立寄を
館主 梅田金次郎
パウリスタ線マリヤ驛サンルイス街 郵函 二七

T. Takara
CIRURGIÃO DENTISTA ARAÇATUBA
北西線アラサツーバ驛【大原商店ト郵便局ノ中間】
齒科醫 寶臣衛

日本
Hotel Japao
Mario. H. Arita
Rua Antonio Prado, 52
Phone 81
Est. Araraquara
アラヽクアラ驛前
館主 相田寛雄
郵函 二五 電話 八一
旅館

MATUFUJI
Caixa, 91
PROMISSÃO
農產物仲買
內外雜貨並に菓子類及和洋酒類
ブリキ細工品取扱
風呂釜、バケツ、メヂーダ(珈琲用)
▲領事館諸顧用紙あります
北西線プロミッソン驛郵函九一
松藤初市

Casa Anse
Armazem de Seccos e Molhados
Machinas de Beneficiar
Café e Arroz
Moinho de Fuba
Araçatuba
珈琲精撰所
精米所
アグア・リンパ殖民地内
安瀬商店
アラサツーバ倉庫 事務所
北西線アラサツーバ驛 郵函…二〇八 電話…五

Dentista
Matsuoka
-Promissão-
北西線プロミッソンセルジッペ街
松岡齒科醫院

Hotel FUJI
Araçatuba
ホテル兼運搬業
御旅館 不二
アラサツーバ市驛筋 郵函 二〇八番

Hotel Inter—naçional
親切清潔簡易
藏力茂子
ソロカバナ線ランシャリヤ驛移住組合倉庫隣り
移住地行ニ至極便利

BARMiCADO
Caixa 401
Biriguy
バール ミカド
山内一久
ビリグキ セッチンヂ、セッチンブロ街(刷レネマ館中央) 郵函 四〇一

東京式製菓
横濱堂
北西線プロミッソン驛セルヂッペ街 岩城富士作

北最新式治療
齒科醫 山中信一
北西線リンス驛リオ・ブランコ街二五

内外雜貨小間物類
青木商店
北西線リンス市公園前 郵函拾七番

FERRARIA de T. ONISHI -- LINS
自動車修繕 電氣器具 諸機械
大西鐵工場
リンス驛九月七日街(ひち番)

△最新式設備を以つて一般治療に應ず
向井齒科醫院
ブロミッソン驛ブラサ、ブリメーロデ、マイオ街 郵函——九七

内外雜貨小間物類
竹内商店
ペンナ驛カフエランヂヤ町…郵函一二四 竹内豊次

親切にして清潔本位
熊本旅館
北西線アラサツーバ 郵函 二〇三 田ノ上熊吉

Casa Yida
H. YIDA
Promissão,
△内外雜貨 △小間物 △農產物仲買
○○○内外雜貨 小間物類 其他一切
飯田商店
ブロミッソン驛前 飯田彦光

雜貨小間物 穀物仲買
上田商店
パウリスタ延長線ペラクルーズ驛前

藥局(モデルナ)
調劑正確 敏速廉價
藥品豊富
藥劑師 中須矢吉
リンス市ルイス・ガマ街四二